

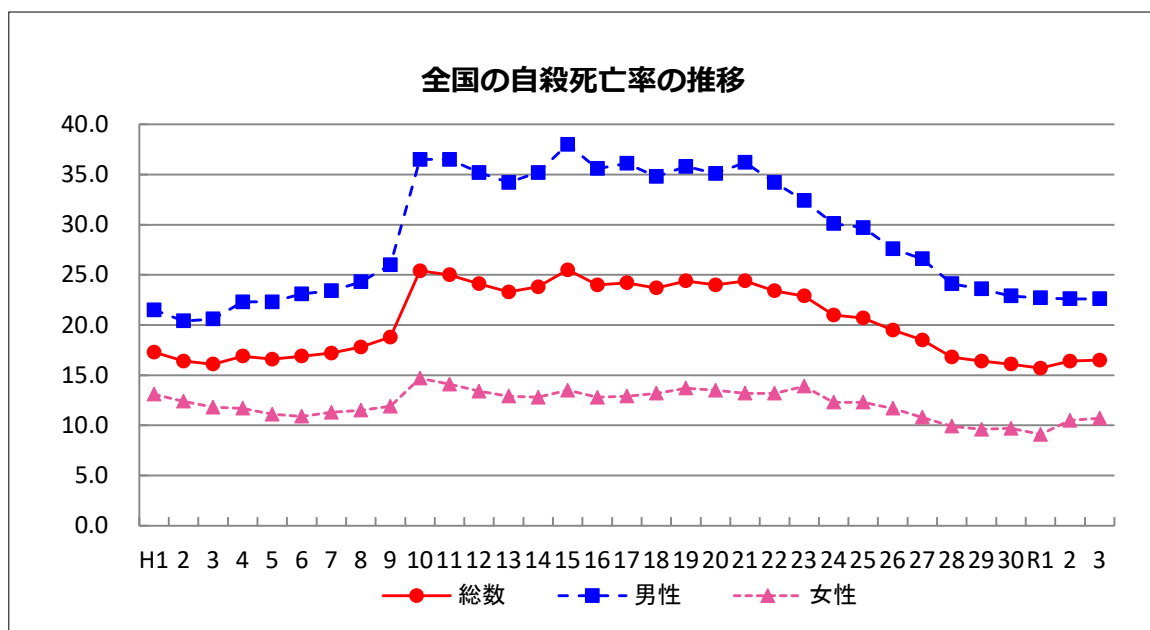
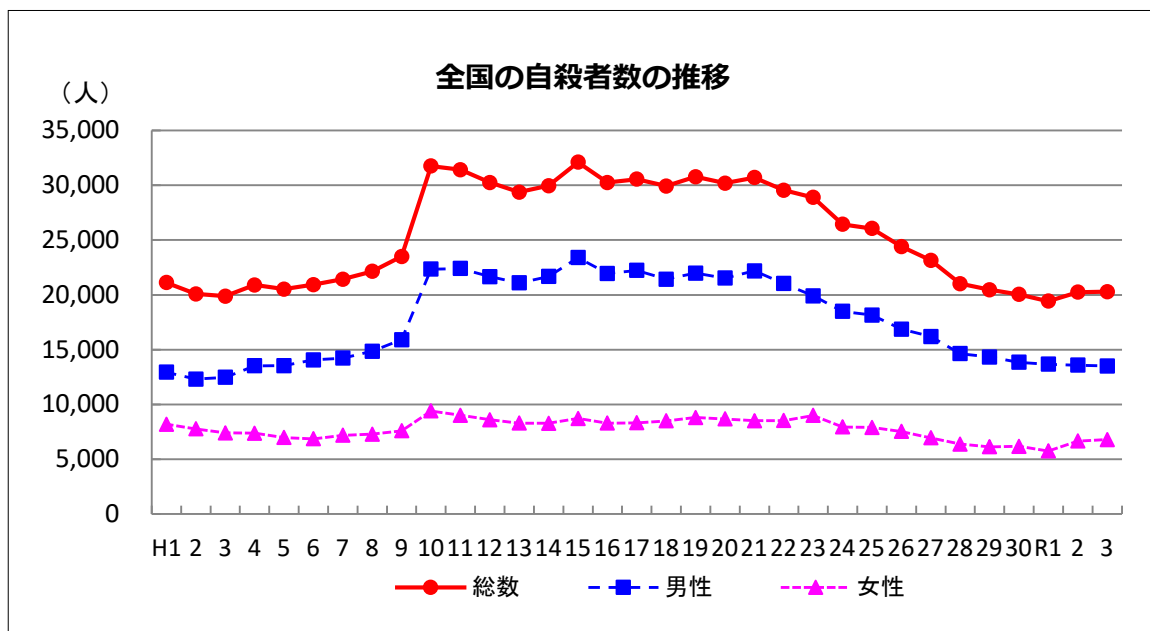
第2章 自殺の現状

1 全 国

全国の自殺者数は、平成 21(2009) 年以降 10 年連続で減少し、令和元 (2019) 年には 2 万人を下回りましたが、令和 2 (2020) 年より再度 2 万人を上回っています。

区 分	平成 29 年 (2017)	平成 30 年 (2018)	令和 元 年 (2019)	令和 2 年 (2020)	令和 3 年 (2021)
自殺者数	20,465 人	20,031 人	19,425 人	20,243 人	20,291 人
自殺死亡率	16.4	16.1	15.7	16.4	16.5

(厚生労働省・人口動態統計)



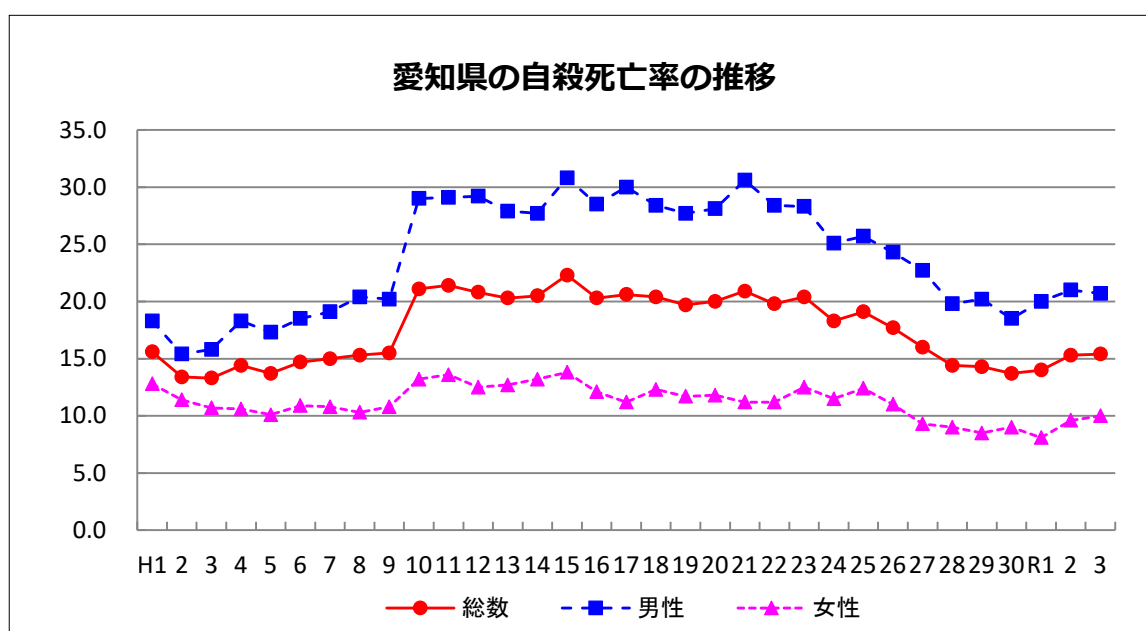
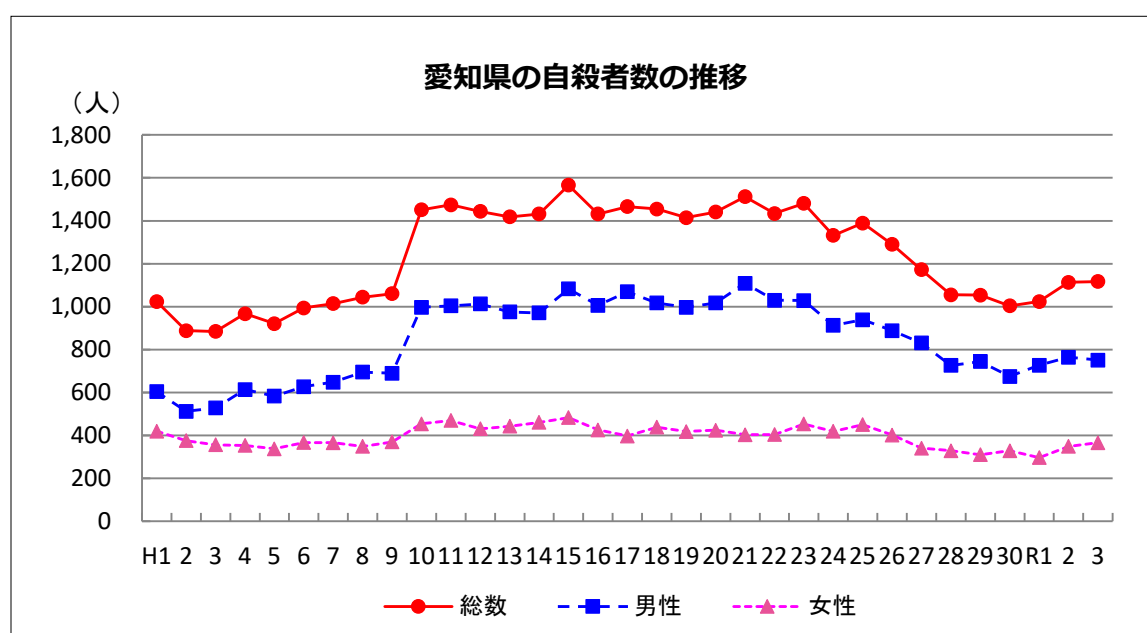
※「自殺死亡率」は、人口 10 万人当たりの自殺者数を表しています。

2 愛知県

愛知県の自殺者数は、平成 10(1998) 年に急増して以降、増減を繰り返しながらも減少傾向でしたが、令和元 (2019) 年より増加しています。

区 分	平成 29 年 (2017)	平成 30 年 (2018)	令和 元 年 (2019)	令和 2 年 (2020)	令和 3 年 (2021)
自殺者数	1,054 人	1,004 人	1,024 人	1,113 人	1,117 人
自殺死亡率	14.4	13.7	14.0	15.3	15.4

(厚生労働省・人口動態統計)



3 名古屋市

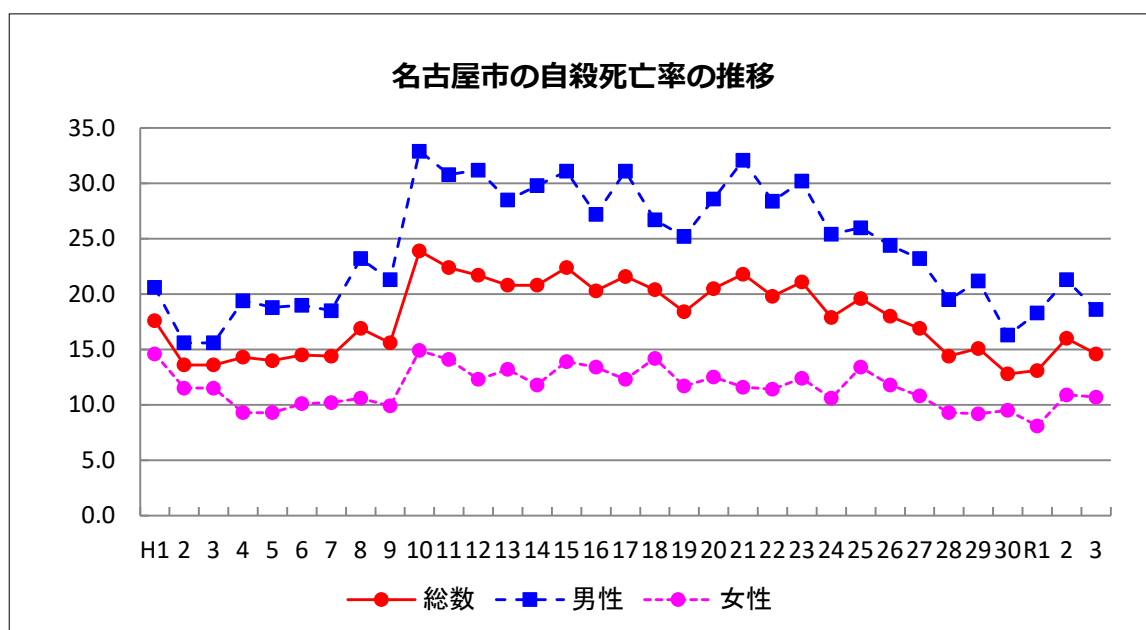
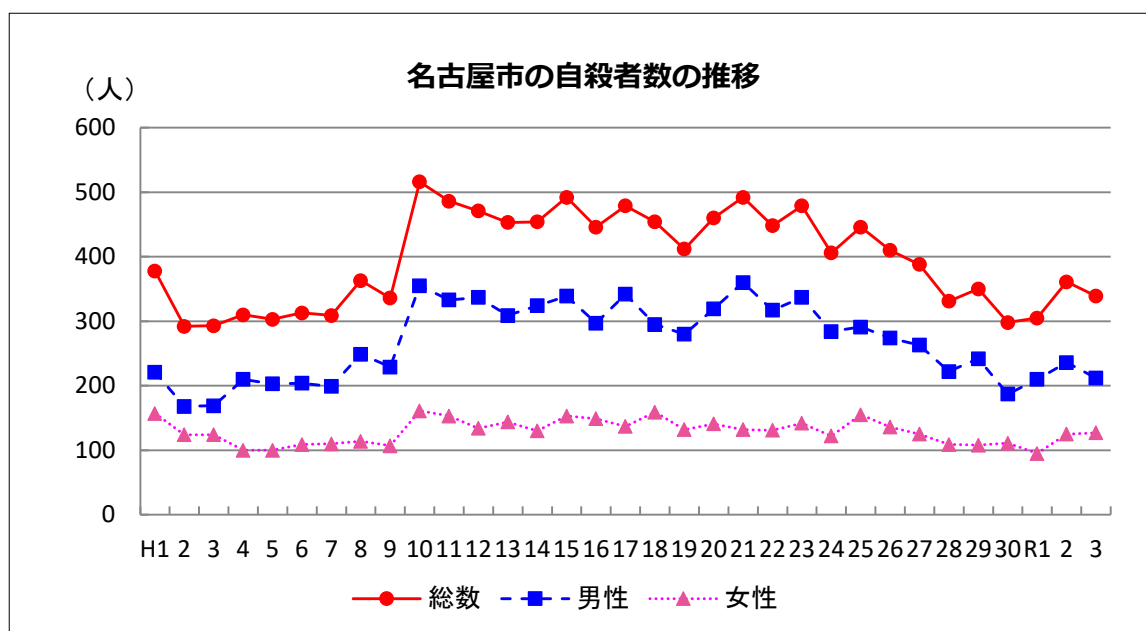
(1) 自殺者数・自殺死亡率

本市においては、平成 10(1998) 年に自殺者数が急増しましたが、その後緩やかな減少傾向を辿り、平成 30(2018) 年には 300 名を下回りました。令和元(2019) 年より 2 年連続で増加しましたが、令和 3(2021) 年は、22 人減少しています。

令和 3(2021) 年の本市における自殺死亡率（人口 10 万人あたりの自殺者数）は 14.6 となっています。

区 分	平成 29 年 (2017)	平成 30 年 (2018)	令和 元 年 (2019)	令和 2 年 (2020)	令和 3 年 (2021)
自殺者数	350 人	298 人	305 人	361 人	339 人
自殺死亡率	15.1	12.8	13.1	16.0	14.6

(厚生労働省・人口動態統計)

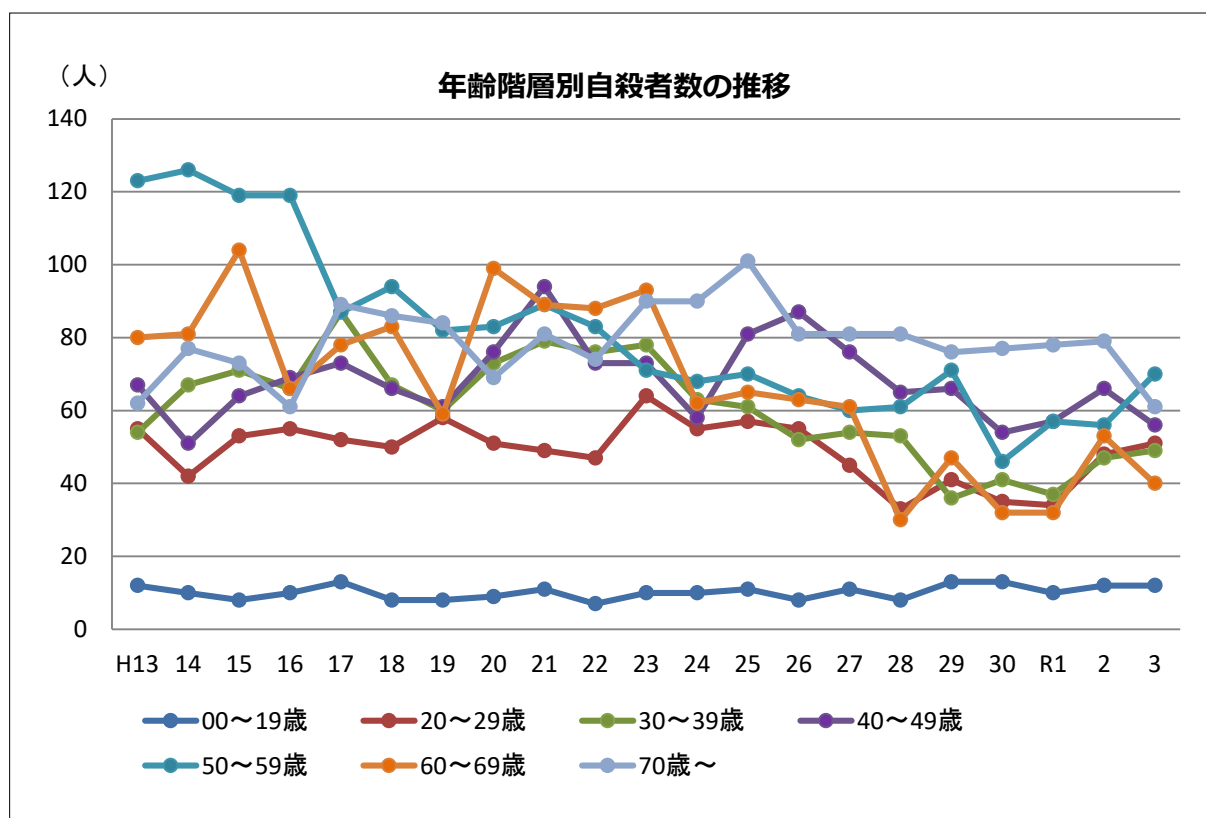


(2) 年齢階層別自殺者数

本市の年齢階層別自殺者数は、50歳以上においては、ピーク時に比べると全体的に減少傾向にあります。49歳以下の世代においては、増減を繰り返しながらもほぼ横ばいで推移していますが、近年は39歳以下の若年層が増加傾向にあります。

年齢階層別自殺者数の推移

	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	不詳	計
平成13(2001)年	12	55	54	67	123	80	62	-	453
平成14(2002)年	10	42	67	51	126	81	77	-	454
平成15(2003)年	8	53	71	64	119	104	73	1	493
平成16(2004)年	10	55	66	69	119	66	61	-	446
平成17(2005)年	13	52	87	73	87	78	89	-	479
平成18(2006)年	8	50	67	66	94	83	86	-	454
平成19(2007)年	8	58	60	61	82	59	84	-	412
平成20(2008)年	9	51	73	76	83	99	69	-	460
平成21(2009)年	11	49	79	94	89	89	81	-	492
平成22(2010)年	7	47	76	73	83	88	74	-	448
平成23(2011)年	10	64	78	73	71	93	90	-	479
平成24(2012)年	10	55	63	58	68	62	90	-	406
平成25(2013)年	11	57	61	81	70	65	101	-	446
平成26(2014)年	8	55	52	87	64	63	81	-	410
平成27(2015)年	11	45	54	76	60	61	81	-	388
平成28(2016)年	8	33	53	65	61	30	81	-	331
平成29(2017)年	13	41	36	66	71	47	76	-	350
平成30(2018)年	13	35	41	54	46	32	77	-	298
令和元(2019)年	10	34	37	57	57	32	78	-	305
令和2(2020)年	12	48	47	66	56	53	79	-	361
令和3(2021)年	12	51	49	56	70	40	61	-	339



(3) 名古屋市年齢階級別死因順位

年代別の死因をみると、名古屋市では10歳～39歳の各年齢階級の死因の第1位は自殺となっています。また40歳代・50歳代についても自殺が死因の上位を占めています。

本市の年齢階級別死因順位

年齢階級	第1位			第2位			第3位		
	死因	死亡数	割合(%)	死因	死亡数	割合(%)	死因	死亡数	割合(%)
10-14	自殺	3	30.0	悪性新生物	2	20.0	－	－	－
15-19	自殺	9	50.0	不慮の事故	2	11.1	－	－	－
20-24	自殺	18	54.5	不慮の事故	6	18.2	－	－	－
25-29	自殺	33	56.9	悪性新生物	6	10.3	不慮の事故	3	5.2
30-34	自殺	19	41.3	悪性新生物	8	17.4	不慮の事故	3	6.5
35-39	自殺	30	42.3	悪性新生物	13	18.3	心疾患	6	8.5
40-44	悪性新生物	27	25.2	自殺	26	24.3	脳血管疾患	10	9.3
45-49	悪性新生物	70	26.7	自殺	30	11.5	脳血管疾患	25	9.5
50-54	悪性新生物	134	34.6	自殺	36	9.3	心疾患	33	8.5
55-59	悪性新生物	198	40.2	自殺	34	6.9	脳血管疾患	30	6.1
60-64	悪性新生物	285	42.7	心疾患	82	12.3	脳血管疾患	38	5.7
65-69	悪性新生物	550	47.3	心疾患	117	10.1	脳血管疾患	59	5.1
70-74	悪性新生物	995	42.7	心疾患	234	10.0	脳血管疾患	134	5.7
75-79	悪性新生物	1,122	37.4	心疾患	322	10.7	脳血管疾患	168	5.6
80-84	悪性新生物	1,256	31.4	心疾患	448	11.2	脳血管疾患	277	6.9
85歳以上	老衰	2,547	22.5	悪性新生物	1,864	16.5	心疾患	1,533	13.5

(令和3(2021)年名古屋市人口動態統計)

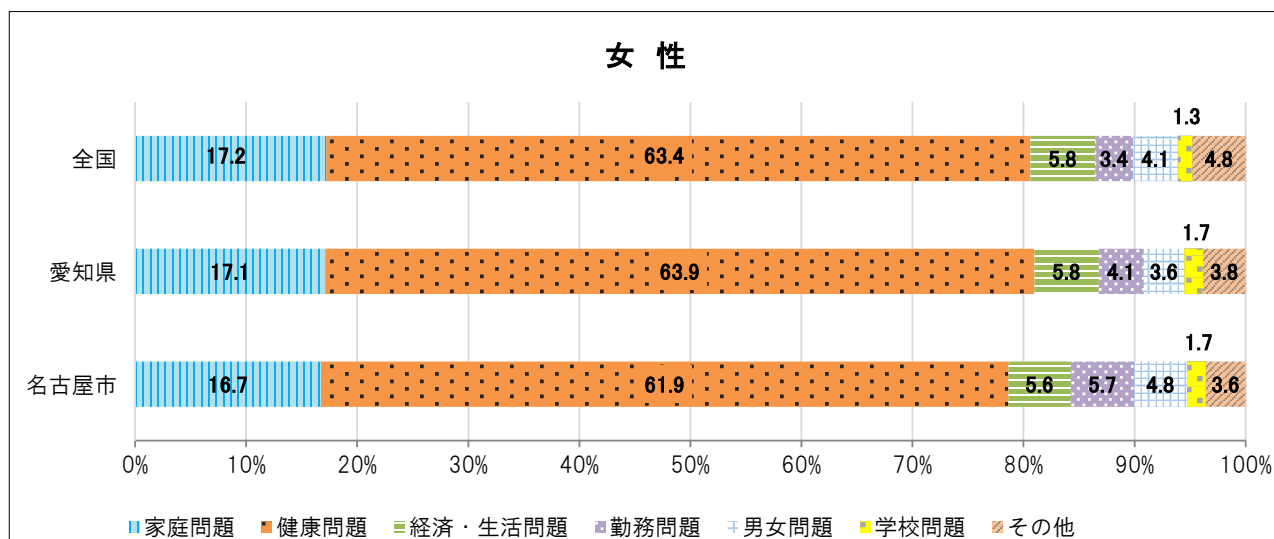
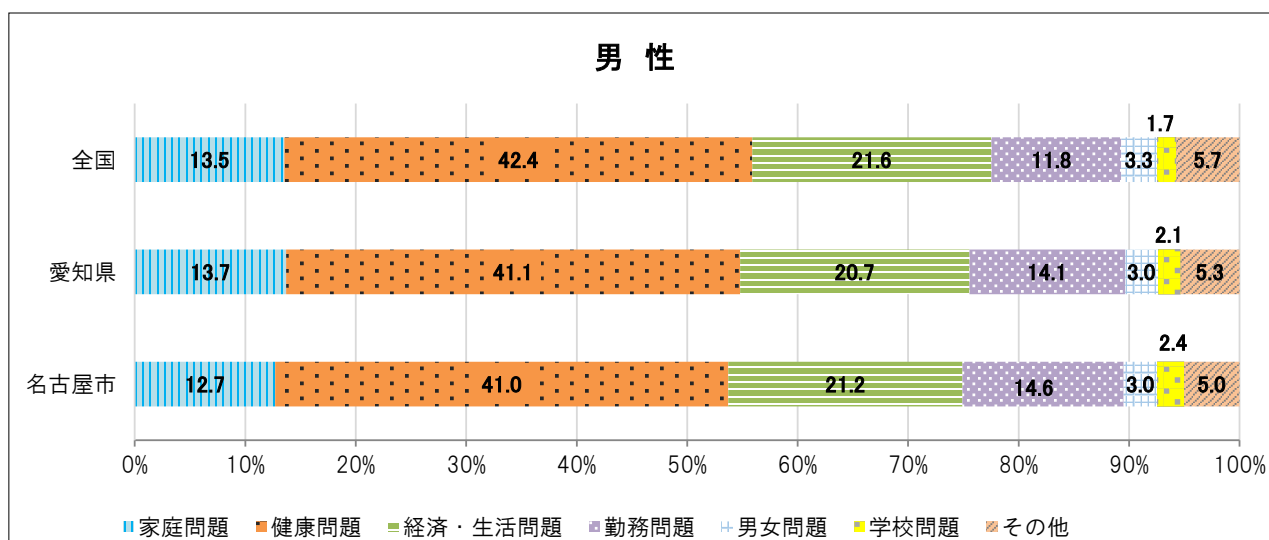
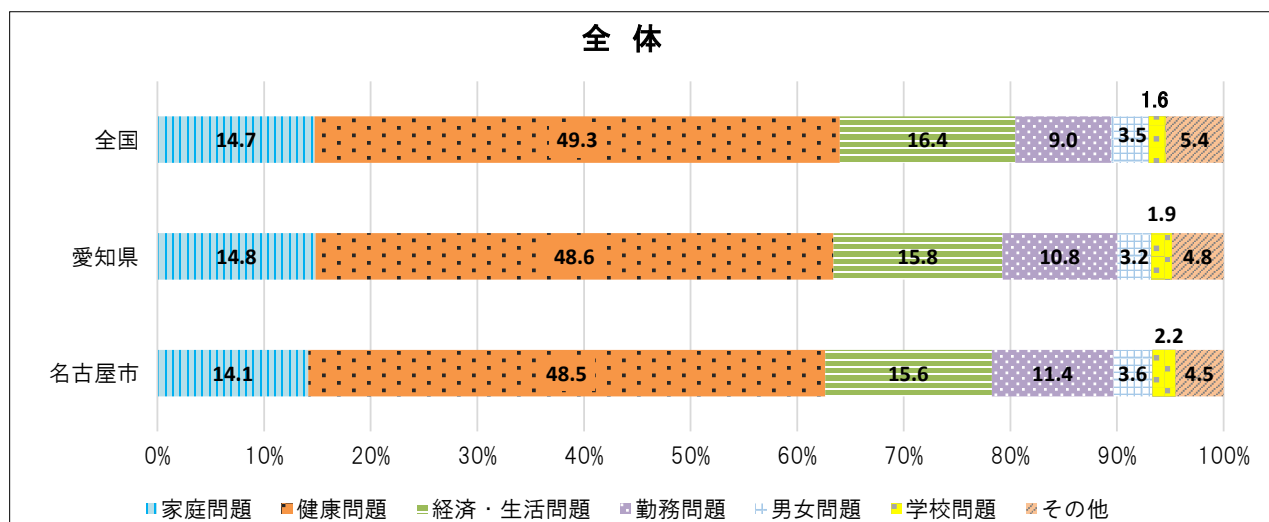
注1：割合は、それぞれの年齢階級別死亡数に対する百分率。

注2：死亡数が1となる死因は除く。

(4) 原因・動機別自殺者数

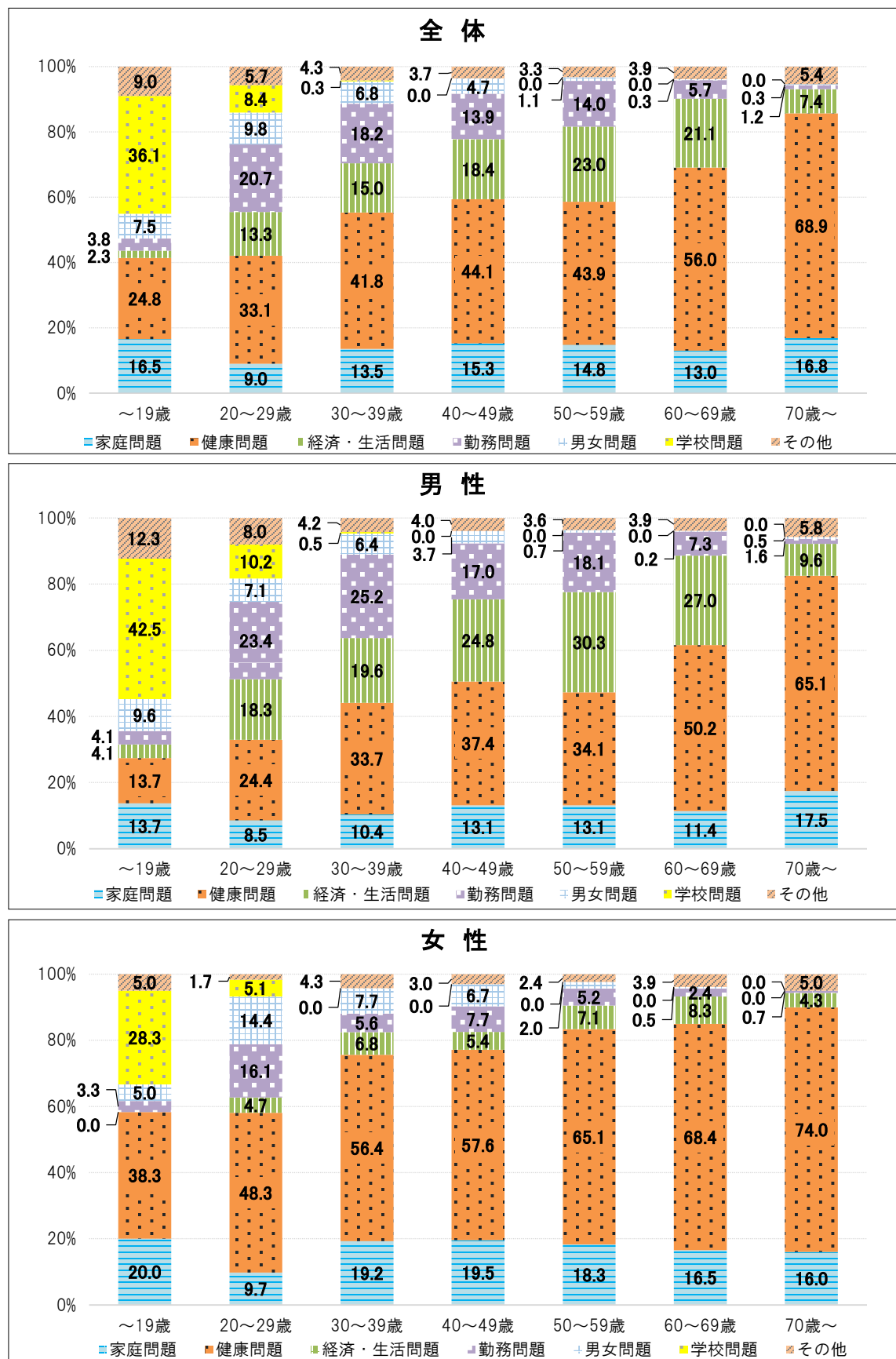
本市の原因・動機別自殺者数では、健康問題を挙げる人が多数を占めています。次いで家庭問題、経済・生活問題、勤務問題を理由とする人も多くなっています。これは、全国、愛知県とほぼ同様の傾向です。

全国・愛知県・本市の割合比較 平成24(2012)年から令和3(2021)年の累計



年代別においても健康問題を挙げる人が多数を占めており、年齢が上がるにつれて増加傾向にあるとともに、女性の方が割合が高くなっています。家庭問題は70歳以上、経済・生活問題は50歳代、勤務問題、男女問題は20歳代、学校問題は20歳未満で、それぞれ割合が高くなっています。

本市の年齢階層別の割合比較 平成24(2012)年から令和3(2021)年の累計



本市の原因・動機別自殺者数の推移

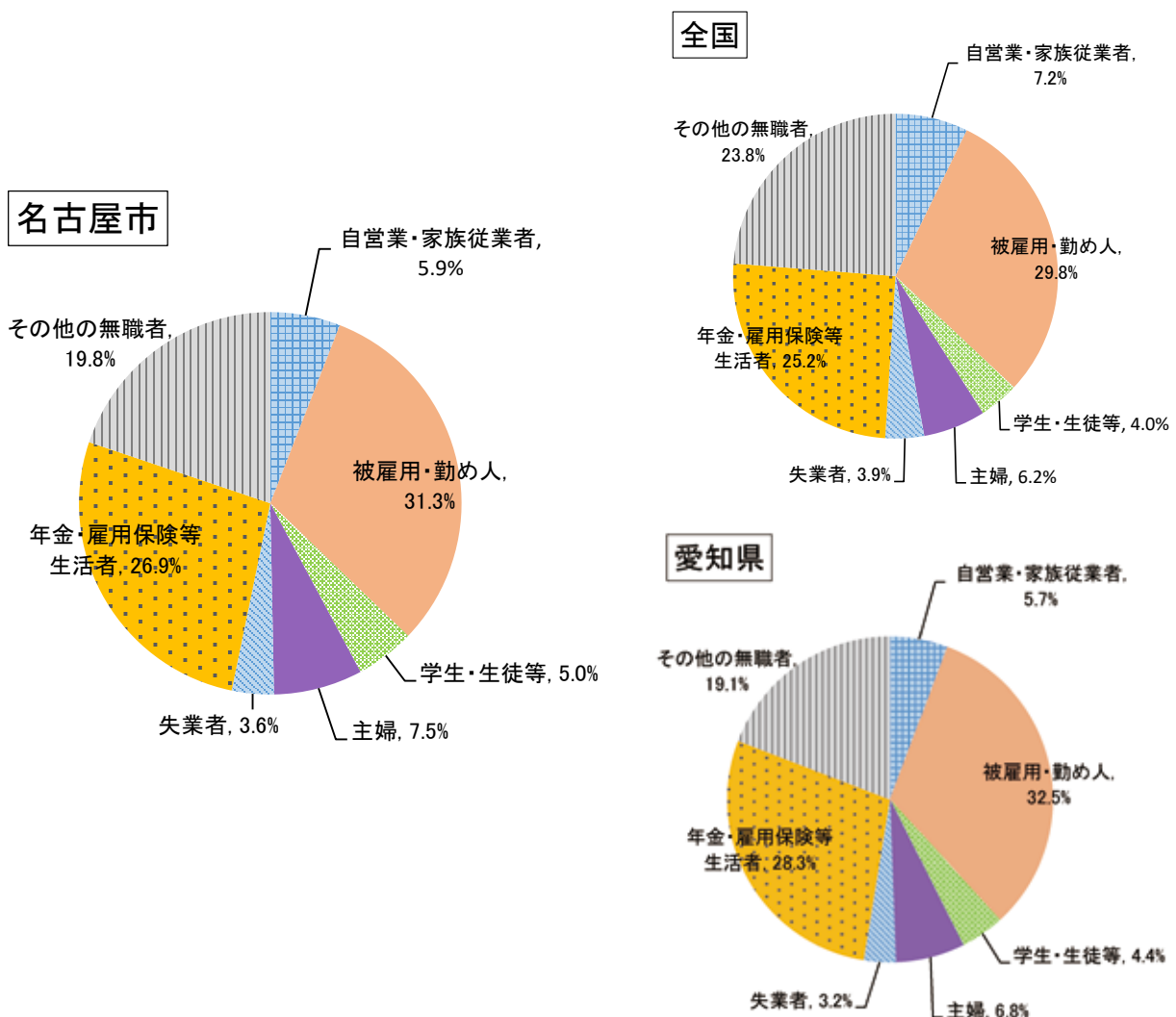
区分	家庭問題	健康問題	経済・生活問題	勤務問題	男女問題	学校問題	その他
平成 24(2012)年	76	270	86	57	20	3	19
平成 25(2013)年	84	307	91	53	22	13	31
平成 26(2014)年	66	234	103	54	18	9	27
平成 27(2015)年	82	235	93	60	15	14	22
平成 28(2016)年	70	224	66	63	22	5	12
平成 29(2017)年	61	246	68	59	23	13	18
平成 30(2018)年	53	208	52	51	11	12	20
令和元(2019)年	58	210	56	46	8	7	30
令和 2(2020)年	58	196	60	47	20	15	18
令和 3(2021)年	67	184	71	55	15	13	18

※数字は遺書等の自殺を裏付ける資料により明らかに推測できる原因・動機が3つまで計上できるため、自殺者数とは一致しない。

(5) 職業別自殺者数

本市における職業別の自殺者数においては被雇用・勤め人、年金・雇用保険等生活者、その他無職者の順に多くなっており、全国、愛知県とほぼ同様の傾向にあります。

全国・愛知県・本市の比較 平成 24(2012)年から令和 3(2021)年の累計



本市の職業別自殺者数の推移

区分	職業別								
	自営業・ 家族従業者	被雇用・ 勤め人	無職	学生・ 生徒等	無職者	主婦	失業者	年金・雇 用保険等 生活者	その他の 無職者
平成 24(2012)年	36	138	297	14	283	38	19	135	91
平成 25(2013)年	31	129	331	29	302	43	15	149	95
平成 26(2014)年	26	130	305	15	290	31	11	148	100
平成 27(2015)年	21	142	297	23	274	37	17	131	89
平成 28(2016)年	25	129	240	15	225	41	9	108	66
平成 29(2017)年	24	137	247	24	223	21	17	109	75
平成 30(2018)年	18	111	216	18	198	35	14	101	48
令和元(2019)年	19	125	218	15	203	23	12	116	52
令和 2(2020)年	33	141	236	27	209	17	18	79	90
令和 3(2021)年	14	131	231	28	203	27	16	47	113

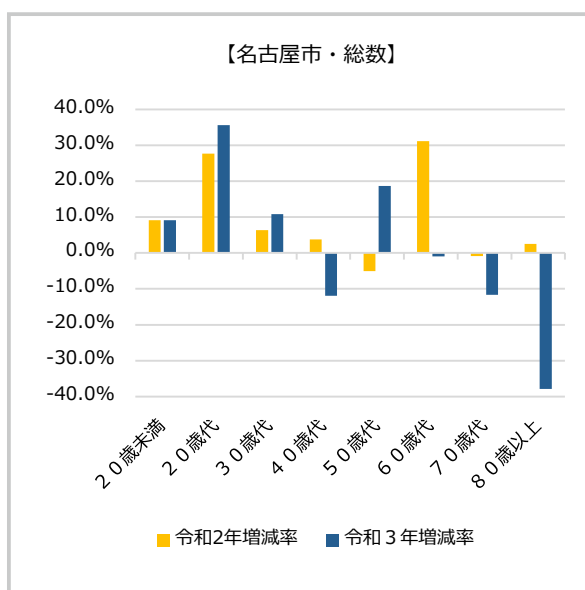
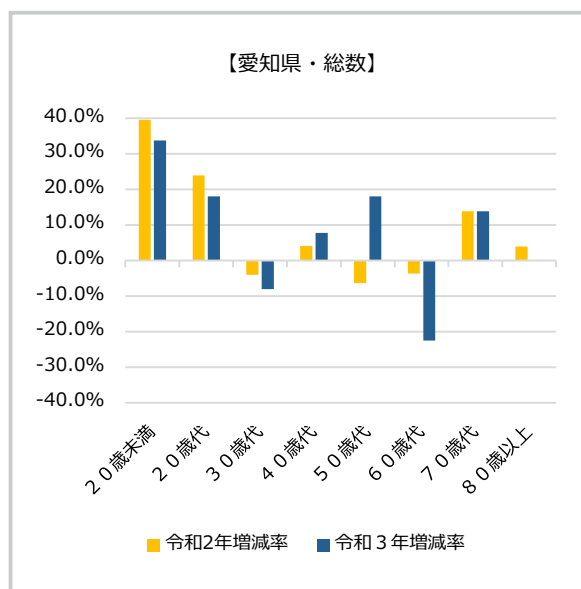
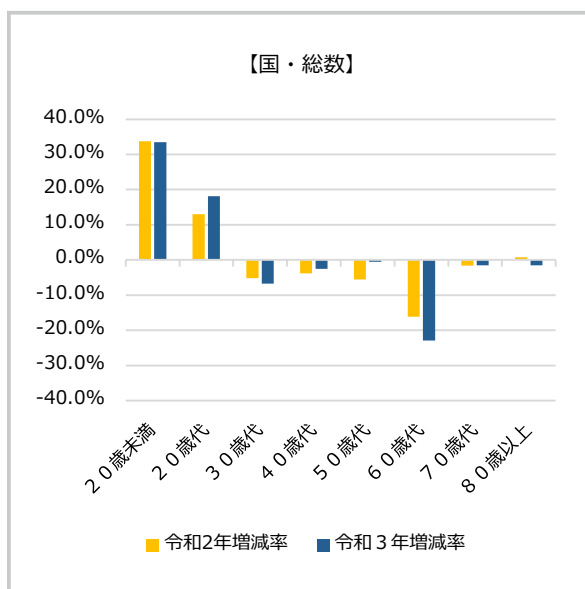
(6) 新型コロナウイルス感染症拡大下の自殺の状況

本市における新型コロナウイルス感染症拡大下の自殺の状況は、コロナ禍前と比較して、主に20歳未満や20歳代において増加しています。特に、女性は全体的に増加しており、中でも若年層が増加しています。これは、全国、愛知県とほぼ同様の傾向です。

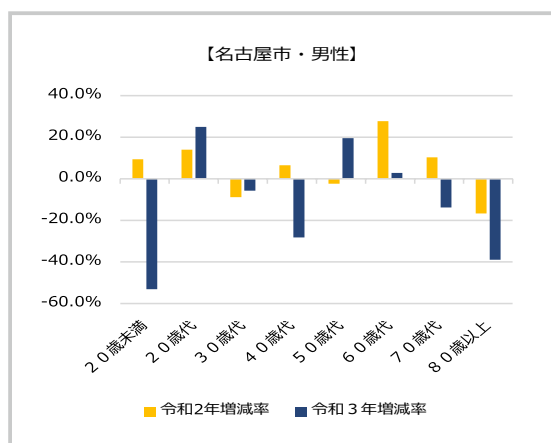
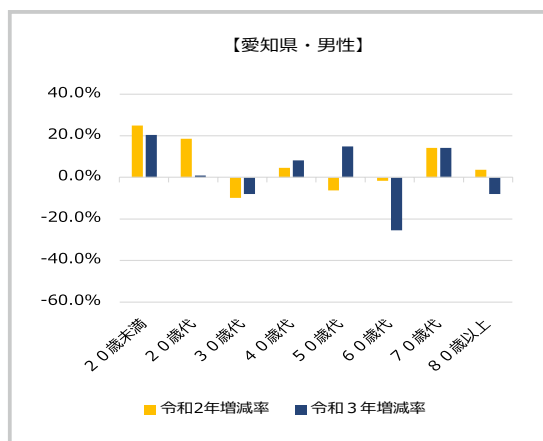
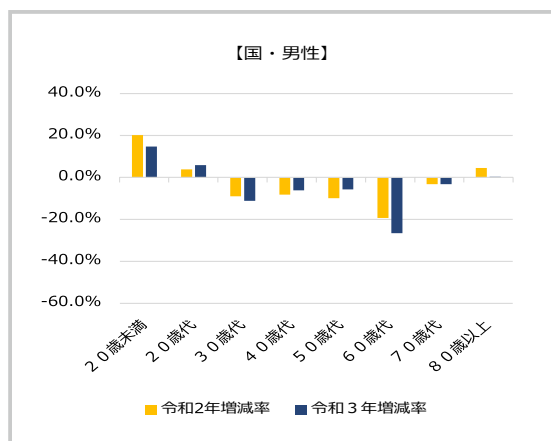
令和2(2020)年、令和3(2021)年の全国・愛知県・本市の自殺者数増減率
(平成27(2015)年～令和元(2019)年の自殺者数平均との比較)

年代別

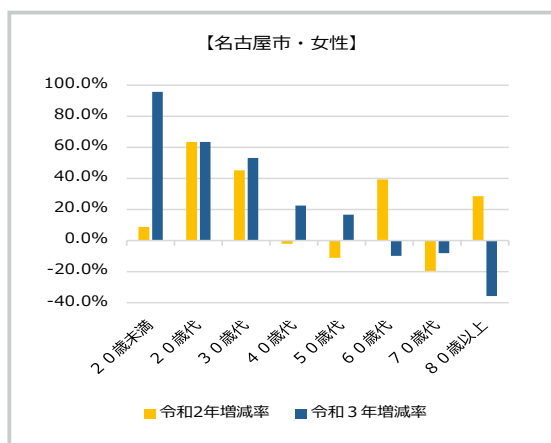
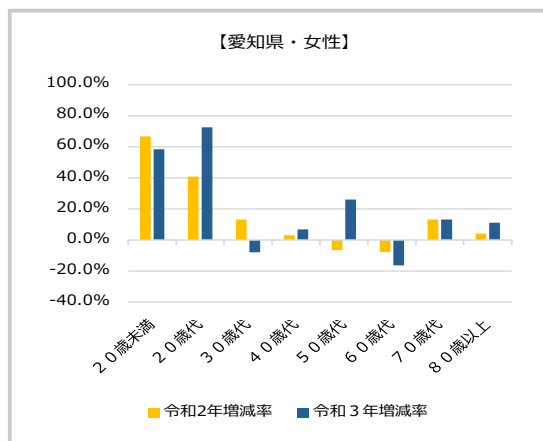
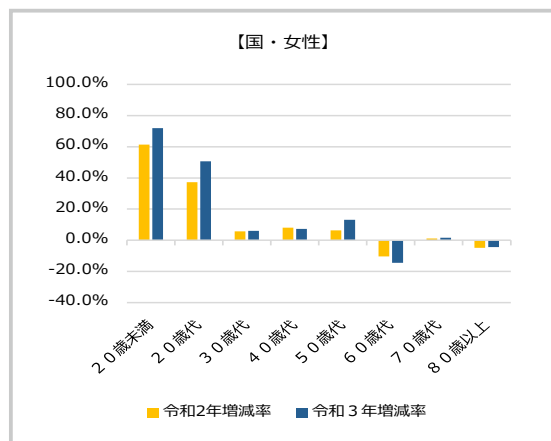
【総数】



【男性】



【女性】

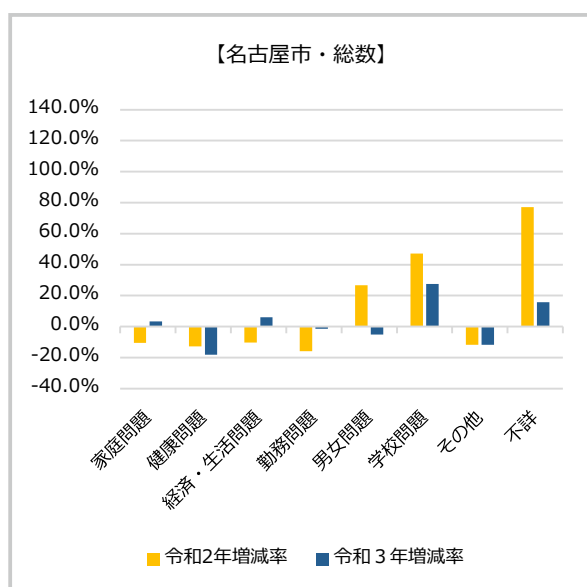
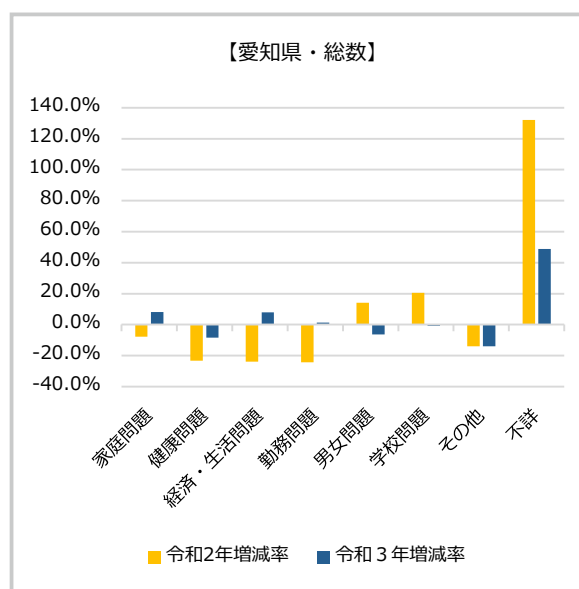
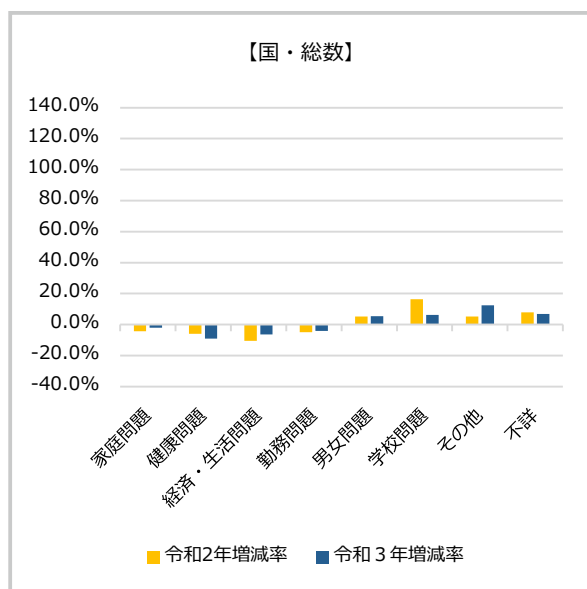


原因・動機別で見ると、「不詳」を除くと「学校問題」が最も増加しています。これは、全国、愛知県とほぼ同様の傾向となっています。男性においては、「学校問題」、「男女問題」の増加が見られ、女性においては、「学校問題」が最も増加しているほか、「家庭問題」、「経済・生活問題」、「勤務問題」、「男女問題」と、「健康問題」以外の原因・動機の増加が見られます。

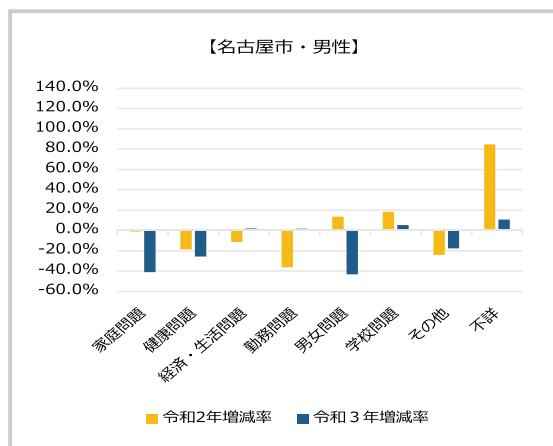
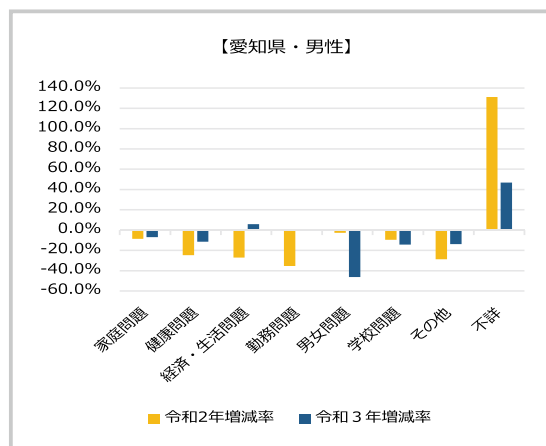
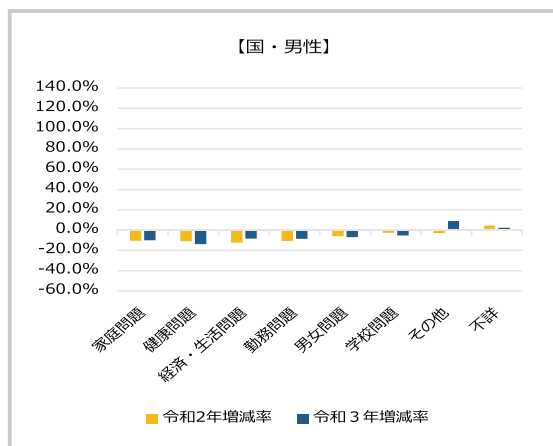
令和2(2020)年、令和3(2021)年の全国・愛知県・本市の自殺者数増減率 (平成27(2015)年～令和元(2019)年の自殺者数平均との比較)

原因・動機別

【総数】



【男性】



【女性】

